

幸せをデザイン 方法学ぶ



社会人ら対象 公開講座



叡啓大



1年

三吉泉

叡啓大（広島市中区）で学び直しを志す社会人を主な対象とした公開講座が6月28日に開かれた。同大ソーシャルシステムデザイン学部長の保井俊之教授が「デザイン思考・システム思考で、殻を破った幸せをデザインする」と題して講義。広島県内の企業関係者や学生約190人が、対面とオンラインで受講した。

近年、社会課題の解決に用いられる「デザイン思考」「システム思考」の概要を皆で学んだグループ討議で意見を交わす保井教授（右端）と受講生

後、対面受講者は4、5人のグループに分かれて討議。「広島にあったらいいな、こんなウエルビーイング（心の幸せ）」をテーマに意見を出し合い、「立ちこぎボードで広島の魅力を知るツアー」など独創的なアイデアが挙がっていた。

さらに、自分たちが考えた幸せの形を即興劇で演じるなど、実践を通して幸せをデザインする方法を学んだ。受講した社員藤原雅美さん（50）＝佐伯区＝は「チームで協力することで、自分だけでは思い付かない発想に触れられて楽しかった」と振り返った。

